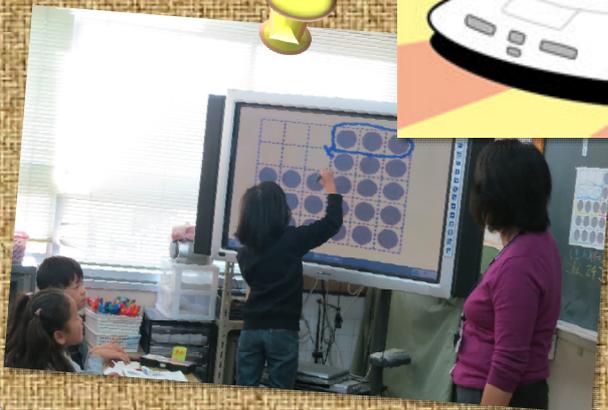


平成26年度予算案 重点施策項目



奈良市



世界から尊敬される国際観光経済都市NARA

- ・奈良町を核とした観光振興 P.1
- ・猿沢池周辺活性化 P.2
- ・奈良の食ブランド化戦略 P.3
- ・東部地域振興 P.5
- ・個別重点項目 P.6

若者たちが帰ってきたくなる街

- ・質の高い公教育 P.9
- ・学校給食 P.10
- ・子育て支援 P.11
- ・豊かな自然環境の保全 P.13

いつまでも住み続けたい安寧の地

- ・ 防災行政 P.14
- ・ 安心安全のまちづくり P.15
- ・ 個別重点項目 P.17

オープンでコンパクトな自治体へ

- ・ 民間委託 P.19
- ・ 情報システム最適化 P.20
- ・ 個別重点項目 P.20



ももいろいくじーか

【世界から尊敬される 国際観光経済都市 NARA】

奈良町を核とした観光振興

<目的>

奈良町を古い町並みや昔からの生活文化を伝える観光の拠点として運営・整備することで、市民や観光客に奈良の魅力をより深く感じていただくために上質で文化的な時間を過ごせる空間を提供し、奈良町への誘客を促進します。

奈良町にぎわい構想

予算：7,380万円

○新「奈良町にぎわい構想」の策定【新】【予算：70万円】

「ならまち賑わい構想」を評価・検証するとともに、奈良町の一体的な観光振興と地域の活性化を図るため、有識者による検討を経て、新たな「奈良町にぎわい構想」を策定します。

○都市景観形成地区建造物保存整備費補助金【予算：2,000万円】

○ならまち町家建物内部改修モデル事業補助金【拡大】【予算：5,010万円】

(H25予算：3,000万円)

景観保存(外観)に加えて、奈良町の伝統的な町並みを保存し、町家の保全活用を促進するための補助を行います。

○ならまち町家バンク【予算：300万円】

「奈良町」に残る昭和20年頃までに建てられた「町家」について、その歴史ある面影と町並みを保存するために、物件の活用機会を所有者及び活用希望者に提供し、町家の活用促進を図ります。

担当：観光振興課

ならまちナイトカルチャー【拡大】・ 出前カルチャー

予算：700万円

(H25予算：320万円)

奈良町で、夜のひとときを楽しんでいただくためのイベント「ならまちナイトカルチャー」の拡大と、修学旅行のための「出前カルチャー」を実施することで観光客・修学旅行の誘致促進を図ります。

担当：観光振興課

奈良町区域内施設改修

予算：1億9,030万円

(3月補正予算：4,730万円含)

○ならまち振興館活用事業【新】【予算：6,800万円】

南の玄関口にある「ならまち振興館」を、歴史や生活文化を体感できる魅力的な施設として整備します。

○奈良町町家改修事業(中新屋町所在町家)【3月補正：4,730万円】

周辺景観の重要な要素となっている町家を改修し、奈良町観光の拠点として活用します。

○ならまちセンター改修事業【予算：7,500万円】

ならまち散策の出発点であるならまちセンターの改修整備を行い、新たな奈良の魅力創造の場として、市民及び観光客の利用促進を図ります。

担当：観光振興課

猿沢池周辺活性化

<目的>

JR奈良駅・近鉄奈良駅から奈良公園をはじめとした観光施設へつながる玄関道として猿沢池周辺の活性化を図り、国際観光経済都市としてふさわしい環境整備を行います。

「元林院」の復興(懇話会・イベント)【新】

予算：206万円

元林院を中心とした猿沢池周辺地区における夜の観光の魅力を創出するための検討を行い、なら国際映画祭の時期に合わせて元林院の伝統芸能の体験・鑑賞イベントなどを開催することにより奈良町の振興を図ります。

担当：観光振興課

第60次春日大社式年造替事業の告知・誘客【新】

予算：250万円

式年造替をきっかけとした誘客のために、マスコミ・旅行会社・全国の神社関係者などを対象とした、研修旅行の企画およびその実施に取り組みます。

今後の方針(3年計画)

H26 情報発信チャンネルの拡大(見学、説明会等)

H27 情報発信、団体営業支援、着型の見学会等

H28 旅行商品化、プロモーション活動

担当：観光振興課

電線類美化事業(三条通)【新】

予算：1,000万円

奈良市内における電線類地中化事業を推進する地区として定めたひとつである「興福寺・春日大社」地区において、先に完了している興福寺から鶴福院町方面に引き続き、興福寺から奈良駅方面へと続く三条線での事業を行うことで興福寺を起点とした世界遺産にふさわしい景観の形成を図ります。

担当：道路建設課

猿沢線街路整備単独事業【新】

予算：400万円

本路線は、世界遺産群である興福寺から元興寺・奈良町を結ぶ道路であり、都市計画道路三条線・杉ヶ町高畑線に結節し生活・観光の環境を整備します。

担当：街路課

奈良の食ブランド化戦略

担当：農林課

<目的>

奈良市の食と魅力を国内外にPRします。奈良市には、高品質な農産物や加工品などがあるものの、消費者にしっかりと伝わっていません。そこで、奈良の食の歴史・文化とともに、それらの食材を見せる・味わう仕掛けを工夫しながら積極的に発信することで、食の信頼を確保し、奈良市産食材を「地域ブランド」として確立していきます。

農商工連携新商品開発支援【新】

予算：115万円

奈良市内の1次産業者と2次産業者または3次産業者が2者以上で連携して行う「奈良市産農林畜産物を利用した商品開発事業」に対して支援を行い、農業の6次産業化を推進します。

平成26年度は支援件数を2件とし、公募を行い、有識者による審査委員会において選定を行います。

大和茶・日本酒海外戦略【新】

予算：730万円

日本食に理解のあるフランスにおいて、大和茶及び日本酒を現地企業との取引につなげるため、マッチングの機会を創出します。現地マスメディアへのPRを通じて、フランス市場における「大和茶」「奈良の日本酒」の販路を拡大します。

1日目：現地メディア・食品関係者等を招いてのレセプションパーティー

2日目：ビジネスマッチング大会

(大和茶生産者、日本酒製造業者と現地商社、バイヤー、食品関係者等とのビジネスマッチング)

奈良市の食×観光PR【新】

予算：1,000万円

奈良市の食と魅力を全国にPRするため、東京駅前新丸ビル7階『丸の内ハウス』で、奈良市産の食材を用いた期間限定メニューを味わうことができるイベントを開催します。奈良市産食材を用いたオリジナル料理を提供し、奈良市産食材のPRを行うと共に、市独自のプラン・ツアーの提供や行事・イベントのPRを行い、奈良市の魅力を全国に発信します。

大和茶PR【新】

予算：150万円

奈良市が大和茶の産地であることを広くPRするための様々な事業を展開することで、大和茶の知名度向上や販路拡大、お茶をきっかけとした観光客の誘致を図ります。

○「お茶コン@奈良」の開催

奈良で大和茶を楽しんでもらうため、大和茶を味わいながら奈良の魅力を再発見できるイベントを開催します。

○大和茶おもてなし作戦事業の実施

市内の旅館・ホテルなどと協力して、奈良市を訪問される観光客等を対象に大和茶ウェルカムドリンクを提供します。また、客室で提供する大和茶パックを開発し、お土産用としても活用します。



いちごブランド化PR

予算：140万円

奈良市産いちご「古都華」の知名度とイメージを高め、古都ならではのブランドとして確立させるため、PR事業の展開や消費市場・流通経路・生産量拡大のための検討を行います。

いちごのシーズンに合わせ、市内有名料理店において「古都華」を扱ってもらうよう働きかけを行うなど「古都華」のPRに取り組むと共に、県内の古都華生産者と連携し、「古都華」の生産量拡大・販路拡大について協議を行います。



個別重点項目

リニア中央新幹線中間駅誘致推進【拡大】

予算：1,800万円

(H25予算:1,200万円)

リニア中央新幹線中間駅の奈良市への設置実現及び東京大阪間の早期全線開通を目指して、イベントやPR活動等を行い誘致に向けた取り組みを進めます。

- イベントの実施
(リニア実験模型乗車体験・科学実験、シンポジウム等の開催)
- 広報事業
(公共交通機関ポスター等掲出、ステッカー・リーフレット作成、リニア誘致PR職員名刺印刷等)
- 啓発資料作成
(パネル、イメージ図)
- 首都圏におけるPR活動



担当：観光戦略課(リニア推進室)

珠光茶会の開催【拡大】

予算：1,200万円

(H25予算:500万円)

茶道の源流とも言える奈良の地で、「わび茶」を創始した奈良出身の珠光にちなみ、「第2回 奈良大茶会 珠光茶会」を引き続き開催します。

市内の世界遺産を含む社寺や、歴史的な町並みが残る「ならまち・きたまち」のお茶室を舞台に、お茶に関するシンポジウムや「ならまち」でのエクスカーションなども開催し、お茶文化を広く紹介します。

平成26年度は、会場を増やし、遠方からでもよりお茶会に参加しやすく、より回りやすく楽しんでもらえるようにするために、シャトルバスの運行経路・回数・時間等を見直すことにより、利便を図ります。

担当：観光戦略課

なら国際映画祭開催補助【拡大】

予算：1,400万円

(H24予算:1,000万円)

映画を通じて奈良を世界に発信し、奈良の魅力を国内外に積極的にアピールし、文化振興及び観光振興に貢献します。日本及び世界の新人監督の発掘、若い人材の育成、人材の交流をすすめます。また、寺社仏閣との融合・コラボレーションする事により、奈良の活性化につなげます。

- ①ならアートナイト(プロジェクションアート)
- ②新人監督作品コンペティション
- ③NARActive2014上映
- ④企画上映(野外交映会・自転車発電上映会)
- ⑤NARAwave(学生映画部門)

担当：文化振興課

外国人観光客誘致

予算：1,502万円

○台湾向け誘致事業【新】

【予算：222万円】

台湾・香港で訪日客向けの旅行総合サイトとして広く認知されているウェブサイトにて奈良市のページを開設し、台湾出身のライターによる利用者目線の観光情報を掲載することで奈良市への観光誘致を図ります。また、サイトとリンクした形での台湾向けプロモーションを企画・開催します。

○新興国へのプロモーション事業【新】

【予算：280万円】

東アジア諸国をターゲットとして、旅行関係メディアへの情報発信や奈良市への訪日旅行商品の造成、また現地旅行見本市でのプロモーションを実施します。

○ツーリズムEXPOジャパン (旧JATA旅博)出展【拡大】

【予算：1,000万円】(H25予算：500万円)

国内最大級の旅行博覧会である日本旅行業協会主催「ツーリズムEXPOジャパン」で奈良市ブースを出展し、国際商談会において、海外旅行社等に奈良をPRします。

担当：観光戦略課

MICE誘致【新】

予算：950万円

○(奈良県ビジターズビューロー負担金) 国際コンベンションシャトルバス助成金 【予算：100万円】

奈良県内で閑散期に開催される国際コンベンションの主催者に対し、主要駅・主要ホテルより会場へのシャトルバス運行に要する経費について助成を行います。

○(奈良県ビジターズビューロー負担金) コンベンションユニークベニュー情報強化 事業【予算：100万円】

新規施設の情報収集などを行い、誘致開催に必要な関連情報などのコンテンツを強化・充実させ、多面的に活用できるようにWEBページを改善します。

○「奈良文書」20周年国際会議開催事業【予算：750万円】

「奈良文書」採択20周年を機に文化庁・県と国際会議を共催します。

※MICE...企業等の会議(Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行(Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議(Convention)、展示会・見本市、イベント(Event)の頭文字のことであり、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。

担当：観光戦略課

まほろば観光大学(仮称)の開校【新】

予算：260万円

旅館・ホテル等の宿泊施設の従業員や経営者を対象に、ホテルマネジメント等に精通した講師を招き、ビジネスや数字にも強い、世界の観光地と伍する高度観光人材を育成する講座を開催します。

国際的な評価の高い欧米のホテルスクールのカリキュラムを基に、現場のニーズも取り入れた内容で学び直しをすることで、宿泊施設のマネジメント力を強化し、グローバルスタンダードにも対応できるよう、ステータスアップを図ります。

担当：観光戦略課

若者を中心とした起業支援

予算：5,180万円

○スタートアップ都市推進協議会【新】【予算：180万円】

起業や既存の企業の新たな事業展開といったスタートアップの推進について、複数の自治体が連携し、ベンチャー企業と大企業、投資家等とのマッチングなど、共同で実施することでスケールメリットを得られる事業を協同して展開することで、各自治体でのスタートアップ企業を増やし、地域経済の活性化を目指します。

○コミュニティビジネス支援【予算：1,500万円】

奈良の地域特性を活かしたビジネスの創業支援、特に若者による新規創業をメインに広く支援を行います。

- ・起業家発掘事業(ビジネスカフェ、インターンシップ、ビジネスプランコンテスト)
- ・起業家育成事業(経営相談・税務相談、各種セミナー開催等)

○中小企業資金融資(創業支援資金等)【予算：3,500万円】

中小企業資金融資制度(創業支援資金)の活用により、創業者の負担が少ない資金調達方法の選択肢を増加させるとともに、創業の増加を促します。

担当：商工労政課

商店街活性化

予算：560万円

○(仮)商店街活性化計画策定事業【新】【予算：200万円】

中心市街地活性化基本計画で得た知識を市内全域の商店街の発展に活かすための計画を策定します。

○街の商い繁盛プロジェクト事業(奈良まちなか市場)【予算：360万円】

郊外の大型店への消費の流出を防ぎ、商店街をはじめとする「街中経済」の振興を図るため、物産展等の誘客イベントを実施します。また、「商店街の逸品展」と題して、商店街の魅力ある店舗・商品を紹介するイベントを開催します。

担当：商工労政課

「大仏鉄道を巡る」観光資源開発【新】

予算：130万円

かつてJR奈良駅と加茂駅を結んでいた通称「大仏鉄道」について、木津川市との協同により、奈良市内に残る遺構と京都府内に残る遺構とをつなぐルートのご案内板の整備、コースパンフレットの作成を行い、新たな観光資源の開発を図ります。



担当：観光振興課

【若者たちが帰ってきたくなる街】

質の高い公教育

<目的>

奈良で学んだ子どもたちが、激動する社会の中で自らの夢を実現し、未来を創り出していくことができるような教育を実現します。そのため本市では、豊かな人間性と確固たるアイデンティティを兼ね備え、確かな学力と規律あるたくましい子どもの育成を目指します。

奈良市教育振興アクション事業【新】

予算：480万円

「質の高い公教育」の実現をめざして国や奈良市の教育、子どもの実態調査を行うとともに、グローバルな視点を持つ有識者による奈良市教育振興戦略会議を開催し、それらに基づいた奈良市版学習指導要領の作成を行います。また、本市の教育に対する認知度向上のため、これまでリーフレット・ホームページを中心としていた情報発信の拡大を図ります。

担当：教育政策課

ICT教育【新・拡大】

予算：1,911万円

(H25予算:140万円)

子どもたちの学力向上、思考力、判断力、表現力等の育成に資するため、ICTの活用をICT戦略会議で検討し、「奈良市版フューチャースクール構想」に向けた効果検証を行うため機器を整備します。また世界遺産学習の独自デジタル教材を作成します。

担当：教育総務課

小学校3年生からの英語教育の充実【拡大】

予算：5,992万円

(H25予算:3,409万円)

英語を使って自分の考えを相手に伝え、自国の文化とともに多様な文化を受け入れる人材を育成するため、ALTを増員し小学校にも派遣するなど、英語教育を充実します。

担当：学校教育課

キャリア教育

予算：256万円

変化が激しく見通しの持ちにくい社会の中で、社会人・職業人として自立し、たくましく生き抜く力を育成します。

担当：学校教育課

世界遺産学習

予算：734万円

奈良の世界遺産や文化財、地域遺産を通して奈良に愛着を感じ、奈良を誇りに思う子どもを育成します。

担当：学校教育課

少人数学級の実施 (学級単位での対応)

予算：4億4,942万円

小学校において少人数学級編成を行い、きめ細かな対応を行います。

1・2年生	30人を上限
3・4年生	33人を上限
5・6年生	35人を上限

担当：教職員課

児童生徒支援教員【拡大】 (学校単位での対応)

予算：7,795万円

(H25予算:5,295万円)

学校現場におけるさまざまな課題に対応するため生徒指導主任、担任とともに児童生徒の家庭等に専任的対応を行う体制づくりを行うため市費講師を配置します。

	平成25年度	平成26年度
小中学校	10人	15人(5人増)

特別支援教育支援員【拡大】 (個人単位での対応)

予算：6,385万円

(H25予算:6,188万円)

個別に支援が必要な幼児・児童生徒の増加、多様化に対応するため更なる支援員の配置を行います。

	平成25年度	平成26年度
支援員人数	104人	106人(2人増)

学校給食

担当：保健給食課

中学校給食の実施【拡大】

予算：9億3,920万円

(H25予算:6億2,340万円)

H27年度から中学校給食の実施を予定している5中学校(二名、京西、飛鳥、平城、登美ヶ丘北)の給食室の建設費用と給食関連消耗品

学校給食費の公会計化【新】

予算：1,500万円

これまで、学校長が保護者から学校給食費を徴収する私会計で運営されてきましたが、学校現場の事務負担軽減及び会計の透明化をはかるため、徴収管理事務を市へと移行します。

食物アレルギーに対する研修【新】

予算：50万円

食物アレルギーに対し、緊急時の適切な対応ができるよう正しい知識を習得するための教職員研修を行います。

子育て支援

<目的>

昨今の社会経済情勢の変化で結婚・出産後も継続して就労を希望される女性が増えているため、子育て支援の重要性が増しています。奈良市も子育て支援のうち待機児童解消を大きな課題と位置づけ、あらゆる手段を講じ、スピード感を持って待機児童の解消に取り組みます。

小規模保育事業【新】

予算：1,981万円

待機児童の多い近鉄西大寺駅周辺の保育定員(0～2歳児)を速やかに確保するため、閉園後の佐紀幼稚園施設を活用し、小規模保育事業を実施します。
なお、事業実施にあたっては、有識者により選定された民間事業者に対し、運営費の一部を補助します。

担当：子ども政策課

公立保育所臨時保育士の増員配置

予算：3,750万円

保育需要の増大に伴い、慢性的に発生している待機児童の解消に向けて、公立保育所に保育士を増員配置することにより可能な限り、受入の増加を図ります。
平成26年3月末で見込まれる待機児童のうち、0～2歳児を可能な限り受け入れし、また待機の発生を防ぐため受け入れをスムーズにできるような保育士の配置を行います。

担当：こども園推進課

(仮称)西大寺駅前保育園施設整備費補助金

予算：1億5,308万円

待機児童解消のため、当市で待機児童の最も多い地域である近鉄西大寺駅周辺において、90人定員の民間保育所を公募により誘致し、施設整備に要する費用の一部を補助することで、待機児童の解消と子どもを安心して育てることができる体制整備を行ないます。
事業者については社会福祉法人から選定し、国が進める「待機児童解消加速化プラン」を活用し施設整備に対する補助を行います。

担当：保育所・幼稚園課

公立幼稚園預かり保育【拡大】

予算：2,950万円

(H25予算:2,250万円)

保護者の就労の有無や就労形態の多様化に対応し、さまざまな保育ニーズにこたえるため、現在、市立幼稚園6園において通常の教育時間終了後に預かり保育を実施しています。
平成26年度は、新たに3園を追加し9園での実施とすることで、さらなる子育て支援の充実を図ります。

担当：こども園推進課

子ども発達支援【拡大】

予算：2,680万円

(H25予算:2,326万円)

発達に問題を抱え、発達支援の必要があると認められる就学前の幼児とその保護者に対して、相談・療育の場を設け、関係機関と協働しながら一貫して支援する体制を整え、幼児の心理的な発達を支援していきます。また、市民を対象とした啓発講座を行っていきます。

さらに平成26年度からは、発達支援に関わる支援者に研修を行い、また、発達状況・目標・評価等を記録する個別の支援計画を作成します。

担当：子育て相談課

移住・定住促進【新】

予算：100万円

本市への流入人口を増やすために、奈良の魅力PRを強化します。現在、本市の実施している様々な取組やまちの魅力を広報し、移住・定住に繋げます。

「自然豊かな地域で生活がしたい」と移住を希望する人が多数来場する、移住交流促進機構(JOIN)の展開する、移住交流フェア等にブースを出展し、本市の魅力を伝えるとともに情報提供や相談に応じる場とします。

また、移住者向けのパンフレット等を作成し配布します。

担当：総合政策課

子育て世帯向け空家改修【新】

予算：2,600万円

市営住宅定期空家募集において、これまでの募集枠に加えて、低所得者で住宅に困窮する小さい子どもがいる子育て世帯を対象として、新たに「子育て世帯向けの特定目的住宅」の募集枠を設定します。それに伴う空家改修工事を実施します。

担当：住宅課



ももいろいくジューカ

豊かな自然環境の保全

<目的>

奈良は人と自然が共生する美しいまちであり、この素晴らしさをもって奈良への定住促進、流入促進を図っていくことが重要です。この美しいまちを未来の世代にしっかりと継承していくために、環境負荷の低減や豊かな自然環境の保全にさらに努めていきます。

街路灯LED化

予算：1億円

街路灯の増設等により、維持管理費が増加していることから、水銀灯をLED化することにより、光熱水費及び修繕費等のコスト削減に加え、二酸化炭素の排出量も削減できます。

<参考>

月1灯当りの水銀灯の電気料金(平均10,903円/年)がLED灯の電気料金(平均3,042円/年)となり、光熱水費の削減につながります。

担当：道路維持課

電気自動車用充電設備設置【拡大】

予算：5,800万円

(H25予算:1,600万円)

地球温暖化対策として、温室効果ガス排出量の削減を目指し、低公害車の普及促進のため、市公共施設等へ充電設備を設置します。

担当：エネルギー政策課

太陽光発電普及啓発・ 公共施設の屋根貸し太陽光発電事業【新】

予算：40万円

安心・安価で設置できる太陽光発電プランを事業者から募集し、優良プランとして登録することで、太陽光発電の普及促進を図ります。

また、民間事業者による太陽光発電事業を促進するため、市の公共施設の屋根を有償で事業者に貸与し、賃貸料を徴収して収入増を図ります。

担当：エネルギー政策課

クリーンセンター建設事業

予算：5,473万円

現在のごみ焼却施設は、稼動開始後すでに30年近くを経過し老朽化しています。市民のより良い生活環境の構築と循環型社会の形成を目指し、計画的かつ効率的に、施設の移転建設を進めます。

○クリーンセンター建設事業【予算:5,093万円】

○般若寺交差点付近の道路改良【予算:380万円】

担当：クリーンセンター建設準備課

【いつまでも住み続けたい安寧の地】

防災行政

<目的>

今後、発生が予想される巨大地震に備え、早期の防災・減災対策が重要です。特に学校施設については、災害時の地域住民の応急避難所としての役割もあり、学校・園の100%の耐震化に向けて引き続き取り組みます。

テレビ会議システムの導入【新】

予算：100万円

災害発生時には、その被害の状況や様子を迅速・的確に伝達し早急な対応を行う必要があります。その手段として、災害対策本部と災害現場や出張所等をリアルタイムで連結し情報共有・状況把握することで、迅速・的確・有効な対策を講じることができるよう災害対策本部会議システムを構築します。

担当：危機管理課

奈良市・生駒市高機能消防指令センター整備

予算：5億2,400万円

消防通信指令事務協議会を設立した生駒市と共同で高機能消防指令センターを整備します。

担当：消防指令課

防災行政無線整備

予算：3億5,500万円

○奈良市防災行政無線(デジタル同報系)整備工事【予算：2億3,600万円】

防災情報や避難勧告・避難指示などを広く市民や観光客に呼びかけ、迅速・適確な被害の抑止や最小化を図るためデジタル同報系防災行政無線を整備します。

○奈良市防災行政無線(デジタル移動系)整備工事【予算：1億1,900万円】

通信の多チャンネル化を図り、防災対応活動の即応性、機動性を高めるため、移動系防災行政無線をデジタル化します。

担当：危機管理課

市庁舎北棟用非常用発電機施設整備【新】

予算：2億1,500万円

災害時に、本庁舎北棟を防災拠点とするため、専用の非常用発電機を新設します。

担当：管財課

安心安全のまちづくり

耐震

予算：17億8,905万円
(3月補正予算：3億8,280万円含)

将来発生が見込まれている大地震に備えるため、これまで同様に公共施設の耐震化を進めます。

現在の耐震基準を満たしていない保育園・幼稚園・小中学校・高等学校の園舎・校舎等を耐震化し、子どもたちが一日の大半を過ごす学校園生活を安全安心なものにします。また補強困難な校舎については校舎の改築を行います。…①

また、生活の拠点、防災計画において大規模災害時の救援物資受入・緊急輸送・ボランティア活動の拠点となっている施設、災害時において緊急車両や救援物資の輸送路として重視される交通網を確保するため優先度の高い橋梁の耐震補強も順次進めます。…②

さらに不特定多数が利用する大規模民間建築物についても、耐震診断をする事業主の負担軽減を行います。…③

①. 保育所・幼稚園・小中学校・高等学校の耐震化【予算：15億7,010万円】

【保育園】

- ・保育園園舎耐震診断(1園1棟)
- ・保育園園舎耐震補強設計(1園1棟)

※ ・三笠保育園園舎耐震補強工事

【幼稚園】

※ ・幼稚園園舎耐震補強設計(3園3棟)

【小学校】

- ※ ・小学校校舎耐震補強設計(10校17棟)
- ・小学校校舎耐震補強工事に係る改修
- ※ ・月ヶ瀬小学校校舎改築設計等
- ・あやめ池小学校校舎改築工事
- ・飛鳥小学校校舎改築工事

【中学校】

- ※ ・中学校校舎耐震補強設計(1校1棟)
- ・中学校校舎耐震補強工事に係る改修
- ※ ・中学校屋内運動場耐震補強設計(8校8棟)

【高等学校】

- ※ ・高等学校校舎耐震補強設計(1校3棟)
- ※ ・高等学校校舎耐震補強工事(1校2棟)

②. その他公共施設耐震化【予算：1億2,020万円】

【生活・防災拠点地】

- ・平城公民館歌姫分館耐震補強設計
- ・春日公民館西木辻分館耐震補強工事
- ※ ・中央体育館、中央第二体育館耐震補強工事
- ※ ・中央武道場耐震補強設計

【橋梁】

※ ・羅城門橋耐震補強工事委託

③. 民間事業主の耐震化支援【新】【予算：9,875万円】

- ・要緊急安全確認大規模建築物耐震診断補助

(※は3月補正前倒し分)

～春日中学校耐震化事例～



耐震化前



耐震化後

担当：こども園推進課、スポーツ振興課、教育総務課、生涯学習課、道路建設課、建築指導課

長寿命化

予算：1億2,600万円
(3月補正予算：4,600万円含)

○橋梁長寿命化修繕事業【予算：8,000万円 3月補正：1,600万円】

<点検>

継続的に橋梁の点検を実施することにより、損傷及び変状を早期に発見し、安全・円滑な交通を確保するとともに、通行者や第三者への被害を防止します。

<長寿命化修繕>

橋梁点検の結果をふまえた長寿命化修繕計画をもとに、ライフサイクルコストの観点から望ましい橋梁長寿命化修繕を実施し、最小限のコストで効果的な予防保全型の橋梁長寿命化を実現し、安心安全のまちづくりを行います。

○公園施設長寿命化対策事業【新】【3月補正：3,000万円】

<公園施設長寿命化>

公園施設長寿命化計画に基づいて、ライフサイクルコストの観点から望ましい遊具施設等の更新を実施し、最小限のコストで効果的な予防保全型の公園施設管理を実現し、公園施設の安全性を確保します。

担当：土木管理課、道路建設課、公園緑地課

施設の整備

予算：22億8,277万円
(3月補正予算：2億3,800万円含)

建設・建築から年々老朽化・破損箇所が増えてきている市施設について危険性・緊急性等を鑑みながら優先度の高いものから順次整備を行います。

<主要な事業>

○道路橋梁の維持補修及び整備【予算：5億8,402万円】

○小学校のトイレ改修(3月補正前倒し対応分)【3月補正：2億3,800万円】

○保育園、幼稚園、小学校の遊具一斉点検及び補修【新】【予算：1,172万円】

担当：施設等の所管課(全34課)

生活道路の新設改良・交通安全施設の整備 (市単独事業)

予算：3億4,120万円

市民生活の環境整備の一環として、道路及び橋梁の新設改良、歩道等の交通安全施設の整備を図り、道路としての機能を高め、快適な生活環境をつくり市民生活の向上を図ります。

<主要な事業>

○一本松、小倉線【予算：6,000万円】

○近鉄平城駅東踏切付近拡幅事業【予算：400万円】

○歩道等の交通安全施設の整備【予算：5,620万円】

担当：道路建設課、道路維持課

個別重点項目

新斎苑整備事業

予算：5,400万円

新斎苑の建設は本市にとっての重要課題であり、地元の理解を得て早期建設を目指します。
現在の施設は、老朽化が激しく、今後予想される高齢化に伴う火葬件数の増加に対して十分に答えられないため、市民ニーズに対応でき、周辺環境との調和や機能性と安全性を重視した火葬施設を建設します。

担当：生活環境課

公共交通空白地域対策【新】

予算：240万円

移動困難者の増加や、過疎化など様々な要因により、既存のバス路線の代替交通手段や公共交通空白地に対する新たな公共交通の確立などの対策が急務となっています。
この問題に対応するため、市、交通事業者、運輸局、警察、住民等で構成される法定協議会を設置し総合的な計画を作成します。

担当：交通政策課

(仮称)奈良IC周辺まちづくり計画策定【新】

予算：940万円

京奈和自動車道に開設が予定されている(仮称)奈良インターチェンジは南大阪、名古屋、和歌山方面から奈良市への新たな玄関口となることが期待されています。
その新たな玄関口周辺において効果的なまちづくり計画の策定を行い、国際文化観光都市奈良市に相応しいまちづくりを誘導し、地域経済・観光の活性化を図ります。

担当：都市計画課

バリアフリーの促進【新】

予算：5,940万円

○奈良市バリアフリー特定事業計画策定業務【予算：860万円】

高齢者や障がい者、妊産婦、けが人、さらに子育て世代や観光客等の移動や施設利用の利便性、安全性の向上を促進すること及び観光誘客にも寄与することを目的に、国で定められた6項目の特定事業計画を策定し、本市の重点的かつ一体的なバリアフリー化を目指します。加えて、奈良市独自事業として観光バリアフリー事業を計画します。

○近鉄菖蒲池南口エレベーター設置工事【予算：5,080万円】

現在、通路がバリアフリー化されていない近鉄菖蒲池駅について、地下通路の改修及びエレベーターの設置に向けて、現況等を調査し、エレベーターと附帯施設整備の検討・設計を実施します。

担当：交通政策課

奈良市ポイントカード制度【新】

予算：2,000万円

ボランティア活動を行う市民に、各種事業やボランティア活動参加等によるポイント付与、地元商店街等でのポイント利用ができるICカードを交付することで、市民によるボランティア活動の促進を図ります。
また、70歳以上の市民に対しても健康的で生きがいのある生活を送っていただくために、同様のポイントを付与し、利用できるようにするとともに、月1回無料の入浴補助を行うことで、積極的な社会参加や地域交流の促進を図ります。
平成26年10月より制度開始予定。

担当：協働推進課、長寿福祉課

働く世代の女性支援のためのがん検診推進【拡大】

予算：4,770万円

(H25予算:3,821万円)

働く世代の女性支援のためのがん検診をより一層推進するため、20歳の女性に子宮頸がん検診、40歳の女性に乳がん検診の無料クーポン券を配布し、受診費用を助成します。
また、平成21年から24年のクーポン券配布対象者のうちの未受診者に対しても、再度無料クーポン券を配布し、がん検診の受診促進を図ります。

担当：健康増進課

重度障害者入院時意思疎通支援【新】

予算：137万円

重度障害者が発語困難などにより、入院時に医療従事者との意思疎通が十分に図れない場合に、当該障害者との意思疎通に慣れた支援員などを派遣することにより、医療従事者との意思疎通の円滑化を図ります。

担当：障がい福祉課

ドクターカー運用【拡大】

予算：1,270万円

(H25予算:980万円)

医師が救急現場に出場し、早期医療行為を実施することにより、状態の悪化防止・予後の改善を目指すとともに救命率の向上を図ります。また、救急隊が医師の監視下に置いて直接、指示指導を受け活動することにより知識・技能の向上を目指します。

平成26年度は平日のみの週5日運用から土曜日を追加し、週6日の年間293日運用とします。(1日8時間)

担当：消防救急課

【オープンでコンパクトな自治体へ】

民間委託

<目的>

「最小のコストで最大の市民サービスを生み出す」自治体経営を目指します。経費の削減に努め、また税の用途を最適化するという目標を掲げ、民間にできることは民間に委託するなど様々な改革を進めます。

市街地家庭ごみ収集委託【拡大】

予算：1億5,600万円

(H25予算：7,800万円)

NARANEXT4「家庭ごみ収集の民間委託を拡大します」
収集業務の平準化に伴う家庭系ごみ収集運搬業務の委託拡大事業

担当：収集課

児童手当業務委託【新】

予算：2,430万円

平成26年4月1日から、児童手当の事務処理を民間委託することにより、認定処理等の期間短縮化を図り、市民サービスの向上に努めます。

担当：子ども育成課

小学校給食調理業務委託【拡大】

予算：3億7,020万

(H25予算：2億9,620万円)

平成19年度から行っています小学校の給食調理業務委託について、新たに5校で実施し、民間委託の拡大を図ります。

担当：保健給食課

水道営業業務包括業務委託【新】

水道局の営業部門では、従来から計量業務等一定の業務について個別に委託していますが、中長期計画では委託業務の見直しや委託体制の再構築が必要としています。今後は、個別委託業務に加え直営業務の見直しも行って一業者に委託することにより一元化し、民間のノウハウを取り入れてより一層の業務の効率化及び経費の削減並びにお客様サービスの向上を図っていきます。

平成26年度は、委託する業務内容を精査したうえで調達を行い、平成27年度から順次委託を開始していく予定です。

担当：水道局 料金お客様課

情報システム最適化

予算：2億4,166万円

昭和48年に導入された大型汎用コンピュータにより業務のシステム化を進めてきましたが、度重なる法改正によるプログラム修正等によりシステムの構成が複雑化している現状です。

また、各課においても独自の情報システムを導入していることから、情報システム全体としての効率化・簡素化、経費の削減、市民サービス向上につなげるため「奈良市情報システム最適化計画」に基づき、既存システムを見直し、共通基盤・総合税システム等の新システムを導入します。

担当：情報政策課

個別重点項目

下水道事業の公営企業化【新】

平成26年4月から下水道事業に地方公営企業法を適用します。
また水道局と組織統合し「奈良市企業局」が誕生します。

- 経営状況の明確化
- 経営意識の向上と経営の改善
- 使用料の適正な算定
- 企業管理者の設置

担当：下水道総務課

入江泰吉記念写真コンテスト開催【新】

予算：1,000万円

「日本人の心のふるさと」である奈良大和路を約半世紀にわたり写真に撮り続けた、日本を代表する写真家・入江泰吉の文化・芸術への功績を記念し、奈良から日本文化の美と心を発信すること、「古都奈良」を広くPRすることを目的として、「入江泰吉記念写真賞」及び「なら PHOTO CONTEST」を開催します。

写真コンテストとして、レベルの高い作品を対象とする「入江泰吉記念写真賞」と、広く一般の写真愛好家が気軽に応募することができる「なら PHOTO CONTEST」の二本立てで、2年に一度の開催として実施します。

受賞作品については、写真文化・芸術の発展、奈良の魅力発信につながる活用を図っていきます。

担当：文化振興課

協働のまちづくり推進【新】

予算：300万円

地域には自治会をはじめ様々な団体が活動を行っていますが、その連携状況には地域差があるため、これまで築き上げられてきた団体間の連携がさらに深まるよう、新たな地域自治を担う組織(地域自治協議会)の設立を推進し、地域主体の地域づくりを進めます。

担当：協働推進課

運動公園内施設整備

予算：1億4,180万円

○中央体育館、中央武道場空調設備設置【新】【予算:880万円】

夏季には室温が40℃近くなる中央体育館・中央武道場に、熱中症を予防するために空調設備を設置します。大規模な設備投資ではなく維持管理の簡易な機器を導入します。

○中央体育館、中央第二体育館改修工事【予算:3,000万円】

建設後40年程度経過している中央体育館・中央第二体育館の床面の研磨・体育器具設置金具等の交換を行い、安全性を確保します。また、配管や設備が老朽化しているトイレの改修を行います。

○鴻ノ池陸上競技場インフィールド他改修工事【新】【予算:1億円】

鴻ノ池陸上競技場の芝生部分を100mから107mに拡張し、サッカーやラグビーの公式試合も開催できる多目的な第1種公認陸上競技場に改修します。

○鴻ノ池運動公園中央駐車場改修工事【予算:300万円】

使用不能となっている噴水と利用されていないベンチを撤去し、また、段差で区切られ南北で車両の通行が不能となっている部分を一部バリアフリーにし、動線の改善を行うことで場内での危険性の低減を図ります。現在の駐車可能台数である340台から1割程度の増加を見込みます。



担当：スポーツ振興課

社会参画をめざす女性のためのエンパワメント講座【新】

予算：20万円

男女共同参画社会の実現のためには、あらゆる分野における女性の活躍を支援し社会参画を進める必要があります。

男女共同参画の視点を持ち、ひとりひとりが本来持っている力に気づき、それぞれの社会(地域・仕事・家庭)での活躍を目指して前進するための機会として本講座を開催します。

担当：男女共同参画課